

令和7年度 厚木西高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底)	教育公務員としての責任を自覚し、不祥事防止に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議後に不祥事防止研修を実施し、具体的な事例を通して懲戒処分等について説明するとともに、神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、教育公務員としての責任と自覚、そして倫理観を深めた。 ・管理職との個別面談を適宜行い、職員の状況把握と不祥事防止の意識啓発を行った。 ・法令を順守する意識の向上は、十分達成することができた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	①連絡方法等についてのルール徹底及び、密室化しないような環境整備 ②未然防止	①・職員啓発資料を用いた不祥事防止研修においては、ルールの徹底と全職員の意識の醸成に努めた。 ・不適切な指導を予防、早期発見するため管理職が定期的に校内を巡視した。 ②・教職員、そして生徒に対しても注意喚起を行い、SNS等で連絡を取り合うことはしないことを徹底させた。 ・風通しの良い職場づくり進め、コミュニケーションを大切にし、身近に相談できる雰囲気を作ることで、未然防止に努めた。
定期試験、成績処理、進路関係書類に係る不適切な事務処理の防止	マニュアル等を厳守した適切な事務処理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・教務手帳の紛失を防ぐために、毎日、ロッカーの施錠を行い、返却されているか確認の声掛けを行った。 ・成績処理について点検方法に改良を加え、組織的な点検を徹底し、成績処理に係るミスを未然に防いだ。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導を未然に防ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化及び、不適切な指導の早期発見と予防のために、管理職が定期的に校内を巡視した。 ・人権の尊重について、体罰防止ガイドラインなどの資料をもとに研修を行い、人権意識を高めた。 ・体罰事案は起きなかった。
生徒に係る個人情報扱う際の意識の再徹底	①規定の整備 ②個人情報の適正な取り扱い	①個人情報を扱う際にマニュアルを確認し、手続きの徹底を図った。個人情報の保護や電子媒体等の持ち出しについて、情報管理を徹底した。 ②個人情報の取り扱いについては、複数名での確認を徹底し、適正さを十分判断出来るようにした。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故ゼロ 法令遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車で通勤している職員が多いため、時期を得た注意喚起を積極的に行った。また、教育公務員としての自覚と倫理観を教職員に徹底するとともに、交通法規に対する認識を高めた。
会計事務等の適正な執行	①私費会計の事故を未然に防止する ②備品の現物照合の確認	①・私費会計担当者のための研修会を実施した。 ・定期的にマニュアルの点検、整備を行った。 ②・全職員体制で備品の現物照合を実施した。

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

3年間の不祥事ゼロプログラムの取組みを策定した今年度は、1年を通じて「不祥事防止職員啓発・点検資料」等を活用して、教育公務員としての責任と自覚を深めるとともに、当事者意識を高めることができた。しかし、心身ともにストレスが生じやすい状況はあまり軽減されていないので、労働環境を整えつつ今後も生徒・教職員の心の健康とケアを継続していく必要がある。

令和8年度においても今年度同様、定期的な不祥事防止会議や研修を積極的に実施し、当事者意識をしっかりと持つよう注意喚起する。また、不祥事防止会議を通して教職員による不祥事の未然防止・早期発見及び再発防止に向け、実効性のある対策や対応に取り組み、教職員がお互いを気遣い言葉掛けする環境づくりを進める。不祥事を防ぐためには、教職員の相互理解と管理職による状況の把握が大切であり、今後も校長としてリーダーシップを発揮し教職員一丸となって意識改革を進め、不祥事ゼロでより良い学校教育が進められるように取り組んで行く。